

創建

そうこん

巻頭言：森山修治	・1
令和7年度 卒業研究テーマ一覧	・2~3
令和5年度 就職状況報告	・4~5
ネットワークOB&OG_26：大石一満	・6
研究発表/教室ニュース	・7
令和6年度 建築学教室教職員名簿	・8

2024・7・20 VOL. 59 NO. 1 (通巻186号)

■ 日本大学・工学部・建築学教室 ■

私は、2015年4月から2024年3月までの9年間、日本大学工学部建築学科に教員として在籍しました。私はもともと、建築設備設計と建築防災計画の実務設計者であり、2015年3月までの30年間、東京の設計事務所に勤務していました。生まれは郡山市の約60km南に位置する東白川郡塙町で、出身高校は県立白河高校です。高校卒業後、家業の製材業を継ぐつもりで東京の大学の建築学科に進学しましたが、在学中に木材不況により実家が廃業してしまい、やむを得ず都内で就職することになりました。そこで初めて自分のやりたいことを考え、就職先として研究と設計の両方ができる日建設計を選択しました。

日建設計入社後は空調設備や衛生設備の設計を始めたのですが、最初の10年間は仕事を覚えるので精いっぱいでした。特に初年度は右も左もわからず、小規模物件の資料を渡されて「分からないことは何でも聞いてください。あとはよろしく願います」と上司に言われましたが、何を聞いたらいいかもわからず途方に迷いました。そのときに立ったのが、大学で習った建築環境工学や建築設備の知識とテキストでした。

入社10年を過ぎた頃から自由に設計ができるようになり、仕事に余裕も生じてきました。また設計に自分の独自性を持ちたいとも考え始めました。そこで当時、性能設計の研究が盛んであった防災に興味を持ち、独学で勉強を始めました。目標は建築意匠・設備と防災計画を融合させた建物設計です。教科書としたのは「建築物の総合防火設計法(全4巻)」(平成元年、建設省技術調査室監修)ですが、文献の理解には大学で学んだ環境工学の知識が大変役立ちました。文献だけで理解できないことは著者に直接質問しましたが、高名な著者

の先生方は生意気な若い設計者である私にも親切に対応してくださいました。このようにして得た知見を設計に反映させ、当時の建設大臣の認定を得て建物として実現させました。そして実務で得た知識や竣工検査の実験結果は、学会等で発表するように心がけました。研究と設計を同時にやる楽しさは、研究成果を自分で好きな形に実現できることです。研究を実務に反映させることには障害が付きものですが、仕事仲間にも恵まれました。困難な仕事を信頼できる仲間と成し遂げることは楽しいことです。

“研究が好きな設計者”から“設計もできる研究者”に変わったきっかけは、2003年に韓国大邱市で起きた地下鉄火災事件

実務家・研究者・教育者として

教授 森山修治

で、自殺志願者の放火により地下鉄車両と駅舎が全焼し200人近くが亡くなりました。日本で同じ放火が起きたらどうなるかが問題になり、東京消防庁の支援のもとに実際に稼働している地下鉄駅舎で火災実験を行う実施部隊のリーダーになりました。この火災実験は土曜深夜の終電後から日曜早朝の始発までの約4時間の間に、機材を駅舎内に搬入、アルコールをホーム上で燃やし全長200mの駅舎全体の気温・風速を測定後、機材を撤収するというハードな実験でした。実験成果は報告書と論文にまとめ、建築・消防行政にも生かされました。これをきっかけに実験の面白さに取りつかれ、設備設計の仕事の合間に東京駅地下街を一晩借り切った避難実験や大規模展

示場のエスカレータを利用した避難実験などを企画し実施しました。

その後、2015年4月に日本大学工学部の教員となったわけですが、2019年10月の台風19号による授業の中断や2020年から2023年4月までの新型コロナの影響によるON-LINE授業など、在籍中の約半分で通常とは異なる状態で授業を行うなど教員にとっても、つらいものでした。これらの災害による試練は、キャンパスで友人に会えないなど学生のみなさんにとっても困難なことが多かったことと思います。

授業では建築設計演習ⅢとⅣ、座学では建築設備ⅠとⅡを担当し、研究室では卒論の指導を行いました。これらの授業を通じて学生の皆さんに伝えたかったことは、“課題をしっかりと提出する”ということです。試験や課題は勉強の成果を判定するのが目的ですが、社会人にとって最も大事な“仕事を期限までに要求された水準以上で仕上げる”能力を養う訓練だと考えています。課題というハードルを正面から超えていく能力を養うための訓練です。特に建築設計演習は、“上手とか下手”よりも要求された図面を期限までに提出することが大事であり、それを担当する学生に伝えたつもりです。

最後に、これから社会に出られる学生の皆さんに、かつての上司から頂いた言葉を送りたいと思います。“相手の立場に立って考える”という言葉です。これは相手を思いやることではなく、相手と立場を置き換えて考えや行動を予測することです。社会では顧客や上司も常に味方とは限りません。相手の考えを理解し行動を予測することは重要です。人生経験が少ないうちは難しいかもしれませんが、人間関係で困ったときはこの言葉を思い出してください。気持ちも楽になるし、人間関係の改善にも役立つかもしれません。

令和7年度 卒業研究テーマ

現在、建築学科には17の研究室があり、分野の違いから大きく区分すると、構造、材料・施工、環境、建築計画、都市計画、歴史・意匠などの系に分類されます。各研究室は、それぞれの領域で専門的な研究・教育を行っています。

卒業に必要な科目の一つである卒業研究は、4年次生の期間に一年間を掛けて取り組みます。研究室に所属し教員や院生からアドバイスを受けることで、専門的な研究を実施することができます。まずは、「どのような卒業研究をしたいのか」を念頭にして、研究室を選択することが必要です。

卒業研究は論文と設計のどちらかを選択することができます。但し、研究室の分野的な特徴から、論文もしくは設計のどちらかに限定している研究室もあります。各研究室で定めている選択肢は、研究室名に続く[]で表記しています。

構造系	鋼構造デザイン研究室 〔論文〕 教授：浅里 和茂	空間構造システム研究室 〔論文〕 准教授：野内 英治
	1. 耐震補強後建物の挙動に関する研究 2. 地震による建物被害に関する研究 3. 長周期地震動に対応する建物に関する研究	1. 空間構造に関する研究 2. 各種構造の設計・解析に関する研究 3. 構造物の振動・耐震に関する研究 4. 構造解析ソフトウェアの開発 5. その他(要望に応ずる)
	コンピューテーション応用力学研究室 〔論文〕 教授：ガン ブンタラ ステンリー	構造解析研究室 〔論文〕 専任講師：日比野 巧
	1. 自然現象や生物の行動的な考え方を利用した構造形態の最適化に関する研究 2. 無重力状態で自己釣合い・自己展開できる構造物(テンセグリティー)の研究 3. テンセグリティー構造の概念に基づいて細胞骨格、ウィルスの膜、赤血球血管の機械的性質を解明する 4. 深層学習(人工知能)を用いた地震時特定階層震度階級のリアルタイム地震緊急速報システム開発 5. 深層学習(人工知能)を用いた地震時に測定した脳波との震度階級の相関関係の解明 6. 平坦な紙から立体になる制作方法や、立体の形状から平坦な紙にする折り紙計算方法の研究 7. 構造解析理論と最先端数値構造解析手法の研究	1. 耐震補強効果の評価手法に関する研究 2. 既存建物の立体振動性状に関する研究 3. 建物の減衰評価に関する研究 4. 建物の構造解析モデルに関する研究 5. 木造軸組構法住宅における耐震性能に関する研究 6. 液状化現象に関する実験
材料・施工系	振動システム研究室 〔論文〕 教授：千葉 正裕	鉄筋コンクリート構造デザイン研究室 〔論文〕 専任講師：堀川 真之
	1. 工学部構内にある教室棟の振動性状に関する研究 2. 環境振動の距離減衰に関する研究 3. 木造住宅の振動性状に関する研究 4. 郡山市域の地盤特性に関する研究	1. 能登半島地震で被災した鉄筋コンクリート造建物の復旧性能評価 2. 福島県沖地震で被災した鉄筋コンクリート造建物の復旧性能評価 3. 曲げ圧縮破壊する鉄筋コンクリート梁の実験と解析モデルの妥当性確認 4. エネルギーの釣合に基づく骨組解析の高度化と応用に関する実践的研究
	鉄筋コンクリート(RC)構造・材料研究室 〔論文〕 教授：サンジェイ パリーク	建築材料学研究室 〔論文〕 准教授：齋藤 俊克
	1. 自己治癒・自己修復機能を有するコンクリートの研究・開発 2. ジオポリマー(セメント使用しない)複合体に関する研究・開発 3. 相変化材料(PCM)の建物に適用に関する研究・開発 4. SDG'sを中心とした建築材料による二酸化炭素の削減に関する研究・開発 5. 建築材料及び高強度コンクリートの防火・耐火性能とその改良について研究 6. インド住宅用の省エネ新構法や歴史的石造建造物調査・保存の研究 7. 宇宙建設に関する研究 8. コンクリート電池の研究・開発	1. ポーラスコンクリートの強度及び耐久性の改善 2. RC構造物用表面被覆材または断面修復材としてのポリマーセメントモルタルの性能評価 3. 自然環境下におけるコンクリート系材料の耐久性評価 4. RC構造物用環境負荷低減型断面修復材の開発 5. RC構造物用表面含浸材の性能評価 6. 各種プレキャストコンクリート製品の製造法がその性能に及ぼす影響

環境・設備系

環境工学研究室 〔論文〕 教授：濱田 幸雄	建築設備研究室 〔論文〕 准教授：宮城 聡
1. 相変化材料の音響特性に関する研究 2. 鉄道騒音の測定・評価方法に関する研究 3. 暗騒音、居住者のパーソナリティーを考慮した遮音性能評価手法の確立に関する研究 4. 床衝撃音の評価方法に関する研究 5. 音響管を用いた透過損失測定法に関する研究 6. 小型水力発電装置の開発研究	1. 潜熱蓄熱材の熱特性予測方法に関する研究 2. 熱物性測定装置の制御方法に関する研究 3. 再生可能・未利用エネルギーを利用した省エネルギー空調システムに関する研究 4. 潜熱蓄熱建材に関する研究 5. 熱流センサーの校正方法に関する研究
建築計画研究室 〔論文・設計〕 教授：浦部 智義	住環境計画研究室 〔論文・設計〕 専任講師：市岡 綾子
1. 文化・医療・教育など施設・空間に関する研究と計画 2. 農村舞台など地域資源の役割・活用に関する研究と計画 3. 構法も含めた環境デザイン建築に関する研究と計画 4. これからの建築・都市空間に関する研究と計画 5. これからの住まい・まちづくりに関する研究と計画	1. 景観まちづくり・景観学習に関する実践的活動及び研究 2. 地域におけるまち資源の活用に関する研究 (主に、歴史的資源や公共的資源) 3. 居住空間、住環境、子育て環境に関する研究 4. 地域住民等との協働による居場所づくり研究 5. 環境と人々との関係に関する環境行動研究 6. 福島県を主とした復興・防災まちづくりに関する研究
医療・福祉建築デザイン研究室 〔論文・設計〕 准教授：山田 義文	建築・地域計画研究室 〔論文・設計〕 専任講師：宮崎 渉
1. 高齢者や重度肢体不自由児者の居場所づくり 2. 福祉避難所に指定された公共施設の運営計画 3. 改正バリアフリー法施行後の小中学校の環境整備 4. 古民家等、地域資源の福祉転用による利活用 5. 車椅子使用者用便房における空間寸法の有効性 6. シェアする居住形態のインクルーシブデザイン 7. カームダウンスペースのデザインと設置計画	1. 地域計画・地域デザインに関する研究 2. 既存建築ストックの再生・活用にに関する研究 3. 地域振興施設のあり方に関する研究 4. 木造・木質建築の利用者評価に関する研究 5. 建築とデジタルファブリケーションの可能性に関する研究

都市計画系

都市計画研究室 〔論文・設計〕 教授：廣田 篤彦	建築史研究室 〔論文・設計〕 専任講師：山岸 吉弘
1. 空き家の実態と対応に関する研究 2. 道の駅の運用に関する研究 3. 外国人観光客の行動特性に関する研究 4. オリンピックのホストタウンに関する研究 5. 防災教育の現状と課題に関する研究 6. 地域おこし協力隊の現状と課題に関する研究 7. 地方都市における移住の現状と課題に関する研究	建築史研究室では、各自で自由に卒業研究のテーマを設定することができます。「建築史」という観点からの研究であれば、論文と設計のどちらを選択しても結構です。これまでに取り組まれた主なテーマには、「社寺、民家、城郭、まちなみ、都市、宿場町、職人」などがあります。現在では、古民家の研究を重点的に実施しています。
建築歴史意匠研究室 〔論文・設計〕 教授：速水 清孝	
〔論文〕 1. 建築・都市の歴史に関する研究 2. 建築・町並みの保存と活用に関する研究と実践 3. 建築技術の歴史に関する研究 4. 建築家の作家論に関する研究 5. 建築技術者の職能と法制に関する研究	
〔設計〕 1. 持続可能な社会に向けた建築の提案 2. 歴史からの発想を踏まえた建築や都市への提案	

歴史・意匠系

令和5年度 就職状況報告

令和5年の4月から工学部の就職サイト(CSナビ)で求人公開を取り止め、日本大学本部就職サイト(NUナビ)に求人情報が統合されました。従来の企業からいただいた求人票を就職課で掲載する方法(CSナビ)と異なり、本部からの求人依頼により企業自体が直接入力・掲載する方式(NUナビ)となったため、令和5年度の求人数は11,257社と大幅に増えております(令和4年度のCSナビにおける求人企業数は1,151社でした)。

令和5年度就職者を見ると、東京都の企業へ就職した人は61人(36.3%)と最も多く、次いで東北が38人(22.6%)、関東(東京を除く)と関西がそれぞれ20人(11.9%)でした。昨年度と比較すると、東京都と東北は同程度で、近畿は3.6%増加しました[表1、図1]。

就職先業種を見ると、例年と同じく建設・エンジニアリングの業種が最も多く、65人(33.3%)の学生が就職しました。次いで、住宅・不動産の業種に44人(22.6%)の学生が就職しました。また、設計事務所・コンサルタントの業種では、就職した17人のうち、大学院修了者が9名(52.9%)と約半数でした[表2、図2]。

就職者からのコメントを見ると、「就活で大変だったこと」にはESの作成や面接準備、自己分析や企業研究などが挙げられました[表4-1]。「就活を通じて気づいたこと、学んだこと」には、多くの人に支えられてきたことに気づいたことや自分の強みや魅力を理解することができたことなどが挙げられました[表4-2]。「後輩へのメッセージ」には、自主的に色々なことに取り組んでおくことや情報収集の重要性などが挙げられました[表4-3]。

在学生の皆さん、最新情報をNUナビで日頃からこまめにチェックし、目標に向かって自己分析もしっかりと行いましょう。さらに、授業以外の様々な活動にも主体的に取り組み、卒業生の貴重なアドバイスを自身の就職活動にぜひ活かしてください。

表1: 地域別就職者数

	就職者数(人)	(%)	うち出身地に就職
東京都	61	36.3	4
関東(東京を除く)	20	11.9	15
北海道	2	1.2	1
東北	38	22.6	30
甲信越	9	5.4	6
東海	13	7.7	10
北陸	0	0.0	0
近畿	20	11.9	0
中国	1	0.6	1
四国	1	0.6	1
九州・沖縄	3	1.8	1
外国	0	0.0	0
計	168		69

1(1)	1(0)	1(0)	1(1)
沖縄	鹿児島	福岡	広島
沖縄	九州	中国	

工学部就職者数
□: 0 / ■: 1~5 / ■: 6~10
■: 11~20 / ■: 21~

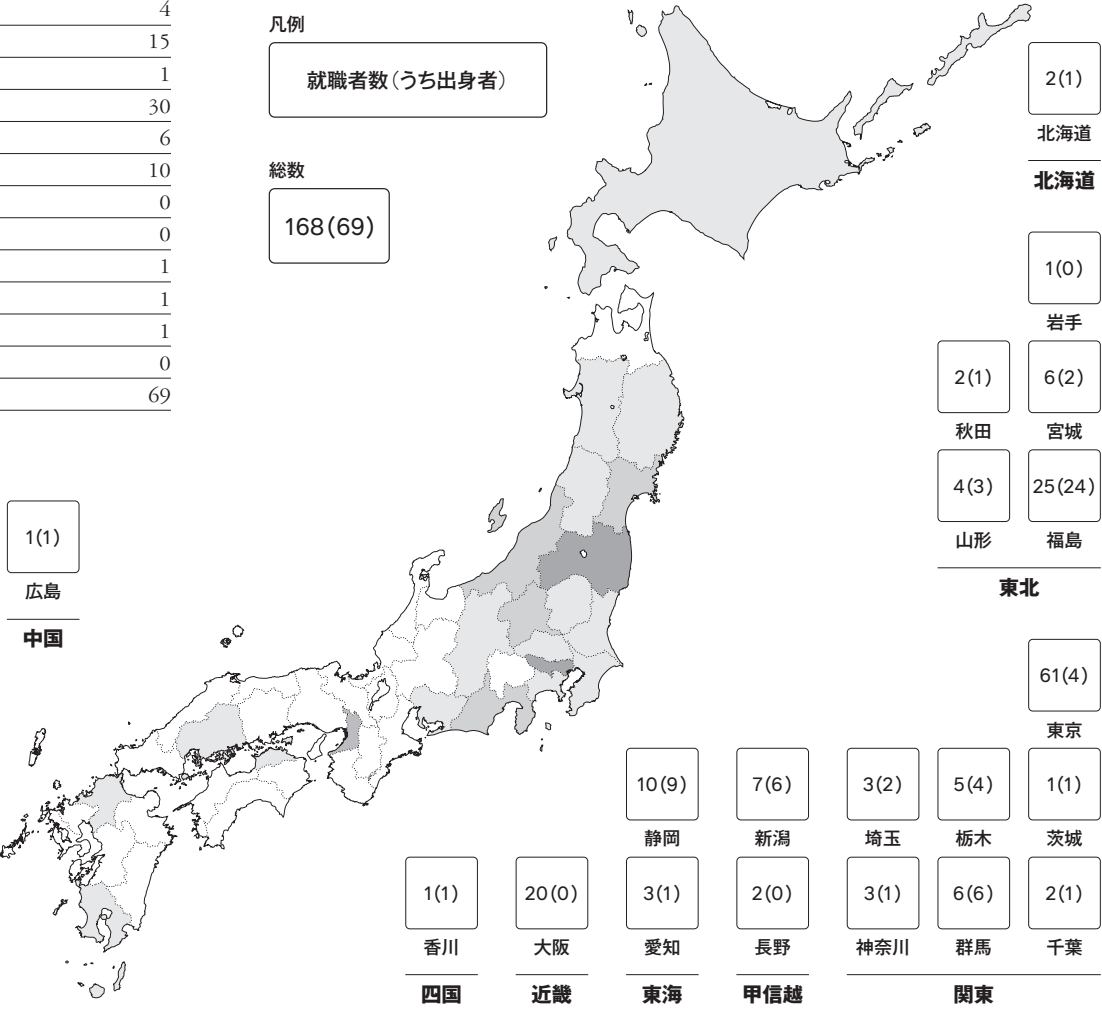


図1: 都道府県別の工学部建築学科就職者数

表2: 企業業種別にみた就職者数と応募区分

就職先業種	就職者数				推薦応募			
	男子		女子		総計		男子	女子
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(人)
A 建設・エンジニアリング	59	36.9	6	19.4	65	33.3	1	0
B 建築設備	1	0.6	1	3.2	2	1.0	0	0
C 住宅・不動産	36	22.5	8	25.8	44	22.6	3	1
D 設計事務所・コンサルタント	12	7.5	1	3.2	17	8.7	0	0
E 製造業・建築関連	4	2.5	2	6.5	6	3.1	0	0
F 官公庁	5	3.1	4	12.9	9	4.6	0	1
G その他	22	13.8	3	9.7	25	12.8	1	0
H 進学	21	13.1	6	19.4	27	13.8	0	0
就職・進学者数	160		31		195			

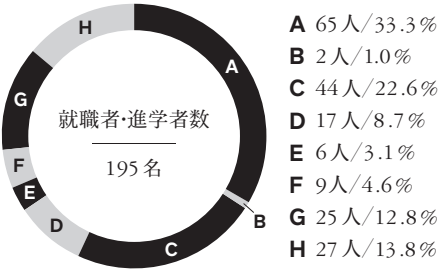


図2: 進路先分布

[主な就職先]	- 佐藤工業(株)	- 茨城セキスイハイム(株)	- ニュージャパンコンサルタンツ(株)	- 新潟市役所
	- (株)橋本店	- (株)オープンハウス・アーキテクト	- (株)シーテック	- 福島市役所
●建設・エンジニアリング	- (株)藤田建装	- 住友林業ホームテック(株)	- (株)スペース	- 会津若松市役所
- 大成建設(株)	- 山形建設(株)	- (株)石井工務店	- (株)協和コンサルタンツ	- 白河市役所
- 鹿島建設(株)	- 大森建設(株)	- (株)AQ Group	- 浅井謙建築研究所(株)	- 群馬県教育委員会
- (株)竹中工務店	- 森繁建設(株)	- 栃木セキスイハイム(株)	- (株)教育施設研究所	- 沖縄県教育委員会
- 五洋建設(株)	- 赤坂建設(株)	- (株)日盛ハウジング	●製造業・建築関連	●進学先
- (株)熊谷組	- (株)ワタザイ	- (株)一条工務店群馬	- コクヨ(株)	- 日本大学大学院工学研究科
- 日本総合住生活(株)	- (株)シーエーリーディング	- (株)郡山塗装	- 川田工業(株)	建築学専攻
- 大東建託(株)	- (株)ケイテック	- (株)オノヤ	- ケイミュー (株)	- 日本大学大学院
- 戸田建設(株)	- (株)森建設	- (株)EXCEED	- (株)ザイエンス	理工学研究科
- (株)奥村組	- 金田建設(株)	- (株)スタジオ・チッタ	- 藤寿産業(株)	海洋建築工学専攻
- 三井住友建設(株)	- 新星建設(株)	- 東北ミサワホーム(株)	- 日綜産業(株)	- 明治大学大学院
- (株)植木組	- (株)斉藤林業	- 大成有楽不動産(株)	●その他	理工学研究科
- (株)福田組	- エム・リンク	- (株)シノケングループ	- (福)福島さくら農業協同組合	建築・都市学専攻建築学系
- 東建コーポレーション(株)	- (株)大林組	- レジデンス・ビルディング	- 東京電力ホールディングス(株)	- 茨城大学大学院
- (株)ピーエス三菱	- NEXTGROUP	マネジメント(株)	- 東京地下鉄(株)	理工学研究科
- 松井建設(株)	- 広成建設(株)	- MEホールディングス(株)	- 日本コムシス(株)	都市システム工学専攻
- 生和コーポレーション(株)	- 伸和建設(株)	- さくら地所(株)	- (株)カーテン・じゅうたん王国	- 大阪公立大学大学院
- 佐藤工業(株)	- (株)KANNA DESIGN	- 三井不動産リアルティ東北(株)	- (株)KSK	工学研究科
- 株木建設(株)	●建築設備	●設計事務所・コンサルタント	- サンセイ医機(株)	- 慶應義塾大学大学院
- (株)穴吹工務店	- 新菱冷熱工業(株)	- (株)ドラフト	- 敬建築企画(株)	理工学研究科
- 関東建設工業(株)	- (株)丸西	- (株)コスモスモア	- (株)星野リゾート	修士課程開放環境科学専攻
- 木内建設(株)	●住宅・不動産	- (株)久米設計	- (株)ダイユーエイト	- 東京工業大学大学院
- (株)加賀田組	- 積水ハウス(株)	- (株)エスパス建築事務所	- 一般財団法人ふくしま建築	環境・社会理工学院
- 村本建設(株)	- 大和ハウス工業(株)	- AIS総合設計(株)	住宅センター	建築学系都市・環境学コース
- スターツCAM(株)	- 住友林業(株)	- (株)本間利雄設計事務所	- (株)ヨークベニマル	- イギリス留学
- クレハ建設(株)	- トヨタウッドユーホーム(株)	- エーユーエム構造設計(株)	●公務員・団体職員	St Giles Brighton 校
- 旭建設(株)	- タマホーム(株)	- (株)渡辺有規建築企画事務所	- 神奈川県庁	
- (株)中村組	- (株)一条工務店	- さくら構造(株)	- 静岡県庁	
- 戸田ビルパートナーズ(株)	- セキスイハイム信越(株)	- (株)富永調査事務所	- 大仙市役所	

表4: 就職者コメント

1:就活で大変だったこと	2:就活を通じて気づいたこと、学んだこと	3:後輩へのメッセージ
自己分析が重要です。自分のことを分かったようでも、深く掘り下げないと本当に何に興味があって、何をしたいのか見えてこないことを痛感しました。(公務員)	同じ職種を目指す学生と面接練習や相談ができると心強い。面接練習は、場数を踏むことが重要。(公務員)	自己分析において気軽に質問に答えるだけで性格のタイプを診断してくれるツールはたくさんありますが、あくまで目安程度にして、今までの自分の経験をよく思い出してその時の行動や思いを書き出す方がより充実した分析になると思います。(公務員)
自己分析や企業研究を重ねるごとにESをブラッシュアップすること。(建設・エンジニアリング)	同じ建築会社でも企業方針や業務内容が異なっているため、実際にインターンシップで現場を見ることが重要。(建設・エンジニアリング)	

就職活動の参考に。

焼津市役所 大石一満（建築47回）

はじめに 本記事に目をとめてくださりありがとうございます。この記事は、卒業生が行っている活動や仕事を紹介するものですが、私の紹介が、皆様の就職活動の参考になればと思い執筆させていただきました。

学生時代 私は、静岡県立島田工業高等学校建築学科を卒業した後、日本大学工学部建築学科へ入学しました。在学中は、若井教授（現在：名誉教授）の下、人体動作空間や建築人間工学とともに、2014年に築100年を迎えた本宮映画劇場（本宮市）の復元図面と模型の作成を行うなど、地域の歴史的建造物の保存や継承についても学びました。また、部活動では器械体操部の部長を務め、長期休暇中は、体操教室で中学生以下の子供たちに新体操を教えるなどしていました。同窓生とは今でも交流があり、在学中に妻と出会うなど、今更ながら、学生時代の人間関係はとても大切であると感じています。

授業 工業高校出身であったこともあり、普通科目は難儀でした。初めて聞くワードも多く、普通高校出身の友人と、普通科目と専門科目を教え、補い合いました。製図の課題や試験前となれば、誰かの部屋に集まり、夜通しで取り組みました。結果としては、友人皆、優秀な成績をもって卒業し、各々の場の第一線で活躍しています。ひとりで頑張ることも大切ですが、適材適所、仲間とともに助け合いながら物事に取り組むことも重要であると思います。

焼津市役所 日本大学工学部建築学科卒業後は、静岡県にある焼津市役所に勤めています。焼津市は、静岡県の中央部に位置し、県庁所在地である静岡市に隣接しています。北に富士山を望み、東に駿河湾、西に大井川のある、人口13万6千人程の海と共に繁栄してきたまちです。私は建築職員として入所し、日本大学卒業生をはじめとする心強い仲間達に囲まれながら、業務を担っています。

仕事概要 市役所では、道、街区、公園などをつくり変える都市計画や地区計画の策定、病院、庁舎、体育館、公民館、学校、市営住宅などの公共施設の設計、工事監理や維持管理、空き家の利活用、建物を建てる前に必要な許可、認定や建築確認、建物所有者、設計者、建設会社などへの指導や助言、市民が安全安心に生活するための規則やルールづくりなどを行います。市役所には、民間同様の仕事に加え、民間にはない、市民生活に直結する様々な建築関係の仕事があります。

まちづくり 本市では、市民のまちづくりへの思いや希望をの



せた意見を集約して誕生した将来都市像、「やさしさ 愛しさ いいもの いっぱい 世界へ拡げる 水産文化都市 YAIZU」の実現に向けて、地域資源や特性を「いかす」、みんなに、地球に「やさしい」、市民の力を「はぐくむ」、人と未来に「つなげる」ことを基本理念に、「共に支え合い豊かに暮らせる」、「安心して子育てができ、子どもが心豊かに育つ」、「生きがいを持って暮らせる」、「産業の振興と地域資源を活用した」、「安全安心で快適に暮らせる」、「市民と共につくり未来へつなぐ」まちづくりに取り組んでいます。

施設づくり 建物の寿命は様々ですが、公共施設の計画保存周期は80年程と言われています。本市では、2023年に新たな本庁舎がグランドオープンし、現在は、市立総合病院、焼津体育館、豊田地域交流センターの建替えなど、既存公共施設の維持管理や修繕、改修はもちろん、新たな大・中規模の新築計画を進めています。これは、人生に一度あるかどうかの市役所のビックプロジェクトのひとつが、今まさに進められており、それに携わるチャンスがあるということです。

建築行政 本市では、経済社会の変化やニーズを踏まえ、建物に関する建築計画の法的チェック、通常建てられない建物を建てられるようにするための許可行為、危険な築造物の改修や撤去の推進などを行っています。また、建物の規模や用途によって、市町村の持つ権限は異なり、権限を有さない、又は、木造2階建て住宅程度のものに対する権限しか有さない市町村が大半である中、本市は、市内全ての建物に対する権限を有しています。

資格 市役所の業務を行うことで、資格に必要な実務経験を積むことができます。取得できる資格は様々ですが、例えば、建物の設計、工事監理を行う建築士、建築士の設計、工事監理の法的チェックを行う建築基準適合判定資格、工事の工程、原価、安全、品質、環境管理を行う施工管理技士などを取得することができます。私自身、一級建築士や建築基準適合判定資格などを有しており、他の職員には、構造設計一級建築士や設備士を取得している者もいます。

おわりに 就職活動には多くの苦労や不安などがあると思います。本市には、あなたの先輩や協力し合える沢山の仲間がおり、良い職場環境があります。「このまち、この施設は、私が造りました」と言える、「あなたのおかげで助かった、ありがとう」と言われる仕事を、一緒にしてみませんか。

学術論文

- 西陸登、齋藤俊克、出村克宣、「吸水調整材塗布による下地処理がポリマーセメントモルタル被覆コンクリートの塩化物イオン浸透抑制効果に及ぼす影響」、セメント・コンクリート論文集、Vol.77、pp.352-359、March 2024.
- 渡辺宗幸、齋藤俊克、出村克宣、「棒鋼を埋め込んだ高塩分含有コンクリートに防せい性混和材混入断面修復モルタルを打ち継いだ場合の塩化物イオンの移動挙動と防せい性」、セメント・コンクリート論文集、Vol.77、pp.433-440、March 2024.
- 西陸登、齋藤俊克、出村克宣、「ポリマーセメントモルタルの中性化および塩化物イオン浸透深さ推定式の提案」、コンクリート工学年次論文集、Vol.46、No.1、pp.1075-1080、June 2024.
- 浦部智義、渡部昌治、芳賀沼整、滑田崇志、早川真介、田中重夫、「東日本大震災後に福島県内に建設された買取り型応急仮設住宅の移設再利用に関する研究」、日本建築学会技術報告集、Vol75、pp.939-944、June 2024.

第87回日本建築学会東北支部研究報告会（みちのくの風2024岩手）

会期：2024年6月22日（土）・23日（日） | 会場：アイーナいわて県民情報交流センター

- 白河市中心市街地における3Dプリンターによるジオラマ模型制作の有効性——現在と江戸時代との比較検証を通じて——

○高橋大翔・横井誉大・市岡綾子

- 戦国大名田村氏にみる領地支配とムラ～田村四十八館からみるムラとムラの繋がり～

○平井涼雅・山岸吉弘

- 水戸芸術館の構想過程について

○大場涼史・速水清孝

- まちなかへの移住を促すお試し住宅の実態把握——白河お試し住宅まちなかベースを通じて——

○市岡綾子

- 被覆ポリマーセメントモルタルの調合因子がポリマーセメントモルタル被覆コンクリートの中性化抵抗性に及ぼす影響

○西陸登・齋藤俊克・出村克宣

- 高橋岳志助教が設計した自邸「島の家」が、3月、第15回JIA東北住宅大賞2023において優秀賞を受賞された。
- 市岡綾子専任講師は、3月7日、浪江町より浪江町景観計画策定委員会委員を委嘱され会長に選出された。
- 齋藤俊克准教授は、3月19日、日本材料学会東北支部常議員に再度選出された。（任期は令和8年3月31日まで）
- 市岡綾子専任講師は、3月22日、須賀川市より須賀川市都市計画審議会委員を再度委嘱された。
- 齋藤俊克准教授は、4月1日、福島県生コンクリート工業組合より品質管理監査会議副議長を再度委嘱された。（任期は令和8年3月31日まで）

- 市岡綾子専任講師は、4月23日、二本松市より二本松市都市計画審議会委員を委嘱された。
- 浦部智義教授の芝居小屋の魅力や活用に関するコメントが、4月24日、読売新聞に掲載された。
- 浦部智義教授が検討委員として携わった、「ふくしま木造化・木質化建築ガイドライン」が福島県土木部から5月に発刊された。
- 浦部智義教授と浦部研究室が計画・設計に携わった、日本大学工学部キャンパス内のロハス工学センター棟（通称：ロハスの森「ホール」）が5月26日にオープンした。

- 市岡綾子専任講師と市岡研究室は、5月28日、6月6日に、白河市立関辺小学校5年生を対象とした景観学習の支援活動を行った。

- 市岡綾子専任講師と市岡研究室は、5月30日に、白河市立大信小学校4年生を対象とした景観学習の支援活動を行った。
- 市岡綾子専任講師は、5月31日、国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所より釈迦堂川流域水害対策協議会委員を委嘱された。

- 廣田篤彦教授は、6月1日、郡山市より、開発審査会の委員を委嘱され、会長に選出された。
- 浦部研究室は、6月に葛尾村復興交流館「あぜりあ」の家具を中心とした内装リニューアルを実施した。

- 市岡綾子専任講師と市岡研究室ほか学生有志は、6月11日、25日に、白河市立釜子小学校4年生を対象とした景観学習の支援活動を行った。

- 田端萌美さん（浦部研M1）が、6月29日、日本建築家協会（JIA）主催の全国学生卒業設計コンクールに作品『眠る資産、再び芽吹く－辺縁を使い切る－』を出展した。

教室ニュース

令和6年度 建築学教室教職員名簿

専任教員

教授	浅里和茂	鋼構造	16 号館	1階	106	8734
教授	浦部智義	建築計画	45 号館	3階	304	8743
教授	千葉正裕	構造力学	16 号館	2階	204	8733
教授	濱田幸雄	建築環境工学	16 号館	3階	310	8752
教授	速水清孝	近代建築史	9 号館	3階	310	8872
教授	S.N. パリーク	建築材料学	9 号館	1階	102	8747
教授	廣田篤彦	都市計画	9 号館	3階	308	8749
教授	ブンタラS.G.	建築基礎構造	16 号館	2階	206	8735
准教授	齋藤俊克	建築材料学	9 号館	1階	114	8740
准教授	野内英治	応用力学	16 号館	2階	207	8744
准教授	宮城聡	建築設備	16 号館	3階	311	8751
准教授	山田義文	建築計画	45 号館	2階	205	8741
専任講師	市岡綾子	建築計画	45 号館	3階	305	8746
専任講師	日比野巧	構造力学	16 号館	2階	205	8753
専任講師	堀川真之	鉄筋コンクリート構造	16 号館	3階	106	8723
専任講師	宮崎渉	建築関連法規	45 号館	2階	207	8742
専任講師	山岸吉弘	日本建築史	9 号館	3階	309	8737
助教	高橋岳志	インテリアデザイン	9 号館	3階	307	8785

大学院
兼任教員・非常勤講師

非常勤講師	宇都宮雅人	建築職業倫理特論	16 号館	3階	310	8752
非常勤講師	滑田崇志	建築設計計画特別実習	45 号館	3階	304	8743
非常勤講師	濱尾博文	建築構造設計特別実習	16 号館	1階	106	8734
非常勤講師	森山修治	建築設備防災特論	16 号館	3階	310	8752
非常勤講師	米田正彦	建築職業倫理特論	16 号館	3階	310	8752

学部
非常勤講師

非常勤講師	阿部直人	建築設計	9 号館	3階	308	8749
非常勤講師	荒牧陽一	建築施工Ⅱ	16 号館	2階	204	8733
非常勤講師	畝森泰行	建築設計演習Ⅳ	9 号館	3階	310	8872
非常勤講師	栗原隆	建築設計演習Ⅲ	9 号館	3階	310	8872
非常勤講師	佐久間宏一	建築設計演習Ⅰ	45 号館	3階	304	8743
非常勤講師	佐藤英次	建築設計	16 号館	2階	207	8744
非常勤講師	田中直樹	建築設計演習Ⅰ	45 号館	3階	304	8743
非常勤講師	田中雅美	建築設計演習Ⅲ	16 号館	3階	310	8752
非常勤講師	寺島守	建築設計演習Ⅳ	9 号館	3階	310	8872
非常勤講師	中山武徳	建築設計演習Ⅱ	9 号館	3階	310	8872
非常勤講師	鍋田知宏	建築造形演習	45 号館	3階	305	8746
非常勤講師	野中恒	建築施工Ⅰ	16 号館	2階	204	8733
非常勤講師	原澤一仁	建築設計	16 号館	2階	207	8744
非常勤講師	檜山延雄	建築設計演習Ⅱ	9 号館	3階	308	8749
非常勤講師	平野由朗	建築設計演習Ⅳ	45 号館	3階	304	8743
非常勤講師	藤倉祐介	建築材料実験	9 号館	1階	102	8747
非常勤講師	松田知子	建築設計演習Ⅲ	9 号館	3階	310	8872
非常勤講師	渡部和生	建築設計	9 号館	3階	310	8872

事務職員

教室事務	小林まゆみ	建築学科センター	16 号館	3階	309	8730
------	-------	----------	-------	----	-----	------

[共通電話局番:024-956]